※令和３年度以前入学生用

学校番号	２０６

令和４年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　新編物理基礎（東京書籍）						
副教材等	改訂　レッツトライノート物理基礎 Vol.１，２						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

物理というと、難しい印象をもつ方も多いのではないでしょうか？
確かに物理では数学を用いる場面がありますが、あくまで目標は身の回りの現象を、理由をつけて説明することです。かまえる必要はありません。まずは身の回りの現象がなぜそうなるのかを考えてみてください。理由をつけることができれば、あなたはもう立派な科学者です。範囲は多岐にわたりますが、丁寧に解説しますので一緒にがんばりましょう。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動とさまざまなエネルギーへの関心を高め，目的意識をもって観察・実験を行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を身に付ける。また、それらを日常生活や社会の中で活用する能力と態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し，探究する過程を通して，事物を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	観察，実験を行い，基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物･現象について,基本的な概念や原理・法則を理解し,知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発表 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	物体の運動とエネルギー	直線運動の世界	○	○			a:物体の運動とエネルギーについて関心をもち、意欲的に探求しようとする。 b:物体の運動とエネルギーがそれぞれどのようにかかわっているかについて科学的に考察し、表現することができる。 c:物体の運動とエネルギーの関係を観察・実験を通して理解する。 d:物体の運動とエネルギーについての法則を理解し、知識を身につけている。	学習状況 ノート・ワークシート 発表 観察・実験 定期考査
		力と運動の法則	○	○				
		仕事とエネルギー		○		○		
2学期	物理現象とエネルギー	熱	○		○		a:熱と仕事の関係について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b:熱と仕事の関係を科学的に考察し、表現することができる。 c:熱力学の法則を観察・実験を通して理解する。 d:熱と仕事の関係についての法則を理解し、知識を身につけている。	学習状況 ノート・ワークシート 発表 観察・実験 定期考査
		波	○		○		a:波と振動に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b:身近な波の現象を科学的に考察し、表現することができる。 c:身近な波の現象を観察・実験を通して理解する。 d:波の概念、波を表す量を理解し、知識を身につけている。	

※令和３年度以前入学生用

3学期	物理現象とエネルギー	電気とエネルギー	○		○		a:電流と電圧, 抵抗の関係を意欲的に考えようとしている。 b: モーター, 発電機の仕組みを科学的に考察し、表現することができる。 c:オームの法則を電気回路の作成を通して理解する。 d: 電気と磁気の関係を理解し、知識を身につけている。	学習状況 ノート・ワークシート 発表 観察・実験 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。